

6. 奨励研究

6. 1 北海道における活断層調査成果の再構築と活用

(担当)：廣瀬 亘・川上源太郎・岡崎紀俊・大津 直・田近 淳・村山泰司

活断層について1995年以降行ってきた調査研究成果について、基盤的地質情報の研究チーム内共有システムおよび道内活断層に関するワンストップ的な情報サービスサイトの構築を目的とした調査研究事業である。

道内活断層について、これまでに蓄積した地形地質データをとりまとめるとともに、研究終了後の状況変化をフォローするための地形地質資料の補完的収集と編纂および電子化を実施した。また、国内における主要活断層に関する被害状況や地元自治体の対策例について、六甲・淡路断層帯を初めとして現地資料・既存資料の収集を行った。それらをもとに富良野断層帯などを対象に活断層情報サイト (GIS) を作成した。

6. 2 地質学的観光地における QR コードを用いた地質情報発信試験

(担当)：鈴木隆広・八幡正弘・高橋 良・秋田藤夫

ジオパークに代表されるように、地質学的・地形学的景観 (ジオサイト) を観光するジオツーリズムが、近年、認知されるようになってきている。認知度をより高めるためには、見てまわるための案内看板や散策マップ、ジオサイトの説明看板やガイドブックを提供者側が整備する必要があるが、ジオサイトが含まれる地域は、特別保護地域であるがゆえに大規模な看板や説明板の設置が難しい場合が多く、設置してもコスト面や手続きの煩雑さなどから、長期間更新されずに、いつまでも古い情報を提供し続けることにつながっている。このことは看板などの設置物だけではなく、ガイドブックや散策マップにも言えることである。

そこで、この問題を解決するひとつの手法として、携帯電話のインターネット機能とQRコードをリンクさせた情報提供のシステムを構築し、西胆振地域の登別温泉において試験運用を行った。情報提供のしくみは、以下のような流れになっており、①訪問者は観光協会などで配られた散策マップやジオサイトに設置された看板のQRコードを携帯電話で読み取る、②次に読み取ったURLにアクセスする、③各ジオサイトの説明 (文字・写真・音声・動画など) を閲覧する。この手法を用いることで、訪問者は従来の看板だけでは得られなかった最新の情報をリアルタイムに受け取ることができ、提供者側も低コスト・低労力で最新の情報に更新することが可能となった。

現在は登別観光協会が主体となって、サーバシステム及び散策マップを引き続き運営しており、携帯電話用ウェブサイト閲覧することが可能である。

携帯電話用ウェブサイト：<http://www.noboribetsuspa-geosites.jp/japanese/>

パソコン用ウェブサイト：<http://www.noboribetsuspa-geosites.jp/pc/>